

読み聞かせ

コロナ禍のため、これまで実施していなかった保護者の読み聞かせ活動を、9月30日(金)からスタートさせました。今回は、コロナ感染防止のため、教室の前に児童を集めたりはしない代わりに、書画カメラで本をスクリーンに映し出して行っていただきました。子どもたちは、話を聞き入っていました。子供たちが楽しみにしていた活動を、再開できたことをとてもうれしく思っています。担当の保護者に皆様方、今後ともよろしく願います。



前期の図書室の利用状況

9月分の「図書室からの本の貸し出冊数」の集計並びに前期の集計ができましたので紹介します。

9月は、**1年生と2年生**がとともがんばっていました。特に、**2年生は921冊**と、学年としての月別最高記録を出していました。

また、前期の貸し出し合計は、**15334冊**で、一人当たりの冊数は**約68冊**になりました。

最も貸し出したのは1年生で**4649冊**でした。各学年部別に見ると、中学年では4年生が、高学年では5年2組ががんばっていました。

次に**多読賞**については、低学年の基準を50冊、中学年の基準を45冊、高学年の基準を40冊していました。そして、前期は「全児童の70%(158人)達成」を学校の目標にしていました。

結果、**160人が達成**し、どうか**70%をわずかに超え**、学校の目標を達成することができました。

ちなみに1~3年生で、最も貸出数が多かった児童は**3年生児童で250冊**、4~6年生では、**5年生児童で216冊**でした。すごいと思いました。

なお、10月の貸し出し冊数は全て後期分になりますので、すでに後期がスタートしていることになります。「読書の秋」と言われます。今月もがんばってほしいと思っています。

屋外環境整備

夏休み中の8月は、グリーンステージ周りの樹木の剪定を、そして、9月から「学びに森」の整備を始めました。

9月からは、掃除の時間に子どもたちにも手伝ってもらい、毎回10袋程度の落ち葉や剪定した枝の袋詰めを行っています。作業を始めて1か月が過ぎ、「学びの森」の端から向こう側の景色が見えるようになり、かなりすっきりしてきました。それに伴い、「学びの森」がすこし明るくなり、昼休みに遊ぶ児童が増えてきました。ただ、高木の下枝落としや伐採が一部残っており、チェーンソーが必要なため、PTA会長にお願いし、役員作業をしていただくことになりました。とてもありがたいことです。今後も、目指す学校像の一つである「美しい学校」へ近づけるようがんばっていきます。

しかし、「学びの森」の整備が終わる頃には、グリーンステージのイチョウが散り、片づけが大変だと心配しています。環境整備に終わりはないようです。

科学展

うれしいお知らせが続きました。今度は、3年生が玉名荒尾教育会「科学展」で特選に輝き、さらに、県大会への出品作品に選ばれました。夏休みにがんばった証です。

ねらいは、お母さんに花を長持ちさせるための方法を教えるために研究したものでした。内容は、次の5つ条件を変えながら、30日間実験・観察を継続し、写真で記録しながら結論を導いたものでした。

- ①花を置く場所(気温が異なる3か所)
- ②液体の種類
(水を含め、家庭内にある5種類の液体)
- ③茎の長さ(3種類)
- ④光を当てるか 当てないか
- ⑤液体を毎日替えるか 替えないか

家族の励ましもあったと思いますが、長期間、丁寧に記録を残し、よくがんばったと思いました。

